

やさすとび!

2022.2 Vol.97

発行：野洲図書館
(野洲市辻町410番地)

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>

「YAのページ」では、司書が週替わりでいろんなこと
をつぶやいています♪あそびにきてね☆

野洲図書館のホーム
ページはこちら→→



今号の内容は…

★表紙の1冊 ★司書のオススメ ★新しく入った本 デス

表紙の1冊

Mi amas vin.



『ポーチとノート』

こまつあやこ／著 講談社 K913/コマ



だれにも打ち明けられない身体の悩みを抱えている未来。未来の机の引き出しには、気持ちをつづったノートと、10歳の誕生日に「アサエさん」からもらったポーチがしまっている。そのアサエさんが同じマンションに引っ越してきた夏、未来は学校図書館でアルバイトにやってきた大学生・保阪に出会う。初めて抱いた気持ちをどう表現しようか迷う未来。そこで見つけたのは、保阪が展示企画で紹介していたある言語だった。

◆これは、なかなか言えない悩みを抱える中高生にぜひ読んでもらいたいです。未来の、好きな人や友達や家族に対する感情が手に取るように伝わってきて、まるで未来の隣に立っているかのよう。思わずあのシーンで「答えは3以上であれ！3以上で！！」と祈願したほどです。(未来ちゃん、質問の仕方めっちゃうまい。)芽衣との友情も胸熱だし、あっけらかんとしたアサエさんの愛情表現がまた泣ける！そして司書をされているこまつさんだけあって、やさしい図書館像もとてもリアルで、胸にしみました。(ざ)



司書のオススメ



YA担当司書からのオススメです♪

未来の私をかけたレース、開幕。



『魔法少女ダービー』

土橋真二郎／著 KADOKAWA(電撃文庫)

B913.6/トハ

猫に襲われかけてたカナリアを助けてから、監視されている気がする—幼馴染にそう愚痴をこぼすのは、競馬が好きな高校生・椎名月人。腐れ縁の咲希と孤高の美女・花翠と同じクラスで、一ノ瀬凧が部長を務める映像研究会に所属している。咲希と花翠の撮影会で騒動が起きた日、月人は魔法少女のホノカに出会う。彼女は自分が生まれる過去に「揺らぎ」が生じたため、未来からタイムリープしてきたという。あの咲希が「ママ」だというだけでも驚きなのに、父親が……自分！？さらに別の魔法少女まで現れ—。◆おもしろい作品を読みました……。カラーページがかもし出すプリティなダービー感はどこへやら。p200からの急転直下はまるでホラー映画。手汗が止まりませんでした。なんせ伏線がうますぎる！それまでに散りばめられた意識しないほどの小さな違和感の正体が次々と明らかになり、何度読み返したことか。そして魔法少女をワクチンとして利用し、混乱を沈めようとする未来の世界が、少し現在の社会と重なり、ゾクッとしました。(ざ)

私はまだ、運命に抗うことが許されている



『ある魔女が死ぬまで —終わりの言葉と始まりの涙—』

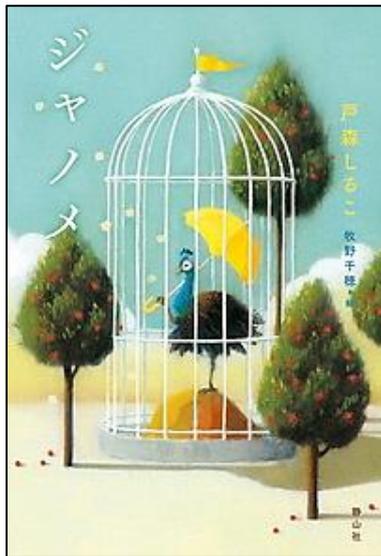
坂／著 KADOKAWA(電撃の新文芸)

913.6/サカ

見習い魔女メグ・ラズベリーは、17歳の誕生日に師匠から「余命一年の呪いにかかっている」と宣告される。助かるためには、人が本当に喜んだときに流す嬉し涙を千粒集めなければならない(奇跡でも起こせる魔女でなければ、一年で千粒も集めるのは不可能に近い…)。現実味のない話に、諦めモードになったメグだったが、困っている人を魔法で手助けするなかで、自分の居場所や生きる意味を見出す。死と向き合い人と関わって、魔女として大切なことを学んでいくメグ。それを見守る師匠『永年の魔女』ファウストの真意とは？

◆メグがポジティブモンスターなので、「余命一年」と告げられても暗い雰囲気にはならず、周りの人々と漫才のような会話を繰り広げて笑わせてくれます。そんな親しみやすいメグだからこそ、みんなが心を開いて頼りにするのかなと思いました。そして、なによりも師弟関係が素敵なお話なのですが、この本のラストで衝撃の展開に！早く続きが読みたい…webサイト『カクヨム』では続きが連載されているようなので、書籍化を期待しております。(う)

いつでも一緒にいるんだ。



『ジャノメ』

戸森しるこ／著 静山社 K913/Tモ

1年目の夏、山の上動物園のメスクジャクは少年と出会った。3年目の夏、1羽とひとりでボール遊びをした。5年目の夏、メスクジャクは待っていた…。成長の痛みと愛を描いた1羽の鳥と少年の物語。

◆シンジとすれ違っていることを感じつつも、現実を受け止めきれず、すれ違いをやり過ごそうするジャノメ(=ピーコ)の気持ちがとてもせつないです。そしてそんなジャノメの気持ちにまったく気づかず、追い打ちをかけるシンジがもどかしいやら腹立たしいやら…。個人的なみどころとしては、ピーコの毒舌がツボです。個性豊かな飼育員たちとピーコの絶妙な掛け合い！？にクスツツしつつも優しい気持ちになりました。もしかしたら私たちも動物たちに人間観察されているのかもしれませんが。(る)

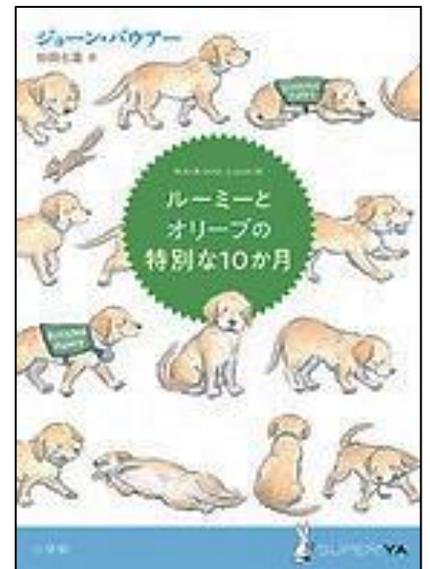
この犬は、だれかの人生を変えることになる

『ルーミーとオリーブの特別な10か月』

ジョン・パウアー／著 杉田七重／訳 小学館 K933/H7

パパを病気で亡くして、会ってまもない異母姉のモーディーと一緒に暮らすことになったオリーブ。モーディーのことは好きだけど、友だちもいない知らない町へ引っ越すことに不安を抱えていた。オリーブは犬が大好きで、新しい家で犬を飼いたかったのだが、モーディーが選んだのはなんとシェアハウス…。「もとの暮らしにもどりたい」と落ち込むオリーブを元気づけたのは、ルーミーという名前の子犬との出会いだった。パピーウォーカーとして、盲導犬候補の子犬を育てる12歳の女の子の物語。

◆パピーウォーカーは、盲導犬の専門訓練を受ける前の子犬を10か月間預かるボランティアです。ルーミーに運命を感じたオリーブは、絶対にこの子を育てたいと、周りの大人を説得したり、盲導犬について勉強したりと奮闘します。責任感が強くて努力家なところはすごいけれど、それだけ愛情を注いだルーミーと10か月後にはお別れしないといけないなんて…「オリーブ、本当に大丈夫？」と心配になりました。犬好きな人もそうでない人も、ぜひオリーブとルーミーの成長を見守ってあげてください。(う)



なぜ食べられないような食べものがあるのか？



『世界一くさい食べもの』

小泉武夫／著 筑摩書房(ちくまQブックス) K383

納豆なんてかわいいもの。世界にはにおいを嗅いだだけで気絶しそうでくさい食べものがたくさんある。それどころか、多くの人がそのくさい食べものを喜んで食べている。その理由は、栄養があって、美味しいから！？くさや、ニョク・ナム、腐乳、ロックフォールなど、世界のくさい食べものと、その奥深い世界を紹介します。

◆納豆を食べる度に、初めて食べた人って勇気があるなあと感じていました。それなのに、さらにキョーレツなおいのかくさややシュール・ストレミング(TV番組で見たことのある空気砲のアレです)などを初めて食べた人は、なぜ、食べられると思ったんでしょうね…。著者が実験したところによると、人間は本能で、腐った食べものと、くさいけど腐っていない食べものを見分けることができるそうです。ちなみに、我々が郷土食の鮎ずしも/ミネートされています。あなたはいくつ食べたことがありますか。(る)

NEW ARRIVALS

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル	著者	出版社
ギネス世界記録 2022	クレイグ・グレンディ／編	角川アスキー総合研究所
自分を変えたい	宮武 久佳／著	岩波書店
世界の美しくてミステリアスな場所	パイインターナショナル／編著	パイインターナショナル
平等ってなんだろう?	齋藤 純一／著	平凡社
支える、支えられる、支え合う	サヘル・ローズ／編著	岩波書店
90分でブラックホールがわかる本	福江 純／著	大和書房
「自己肯定感」を高めて自分を大切にしよう	古荘 純一／著	PHP 研究所
化学のしごと図鑑	近畿化学協会／編	化学同人
夢のつかみ方、挑戦し続ける力	早霧 せいな／著	河出書房新社
クイズで88本ノック	QuizKnock／著	朝日新聞出版
虹いろ図書館のかいじゅうたち	櫻井 とりお／著	河出書房新社
博物館の少女	富安 陽子／著	偕成社
学園ミステリー	恩田 陸／著	汐文社
謎解きミステリー	有栖川 有栖／著	汐文社
スカーレットとブラウン	ジョナサン・ストラウド／著	静山社
どんぐり喰い	エルス・ペルフロム／作	福音館書店
一ノ瀬ユウナが浮いている	乙ー／著	集英社
本好きの下剋上 第5部[7]	香月 美夜／著	T0 ブックス
国王の受難	茅田 砂胡／著	中央公論新社
恋とシェイクとバレンタイン	神戸 遙真／著	講談社
転生したらスライムだった件 19	伏瀬／著	マイクロマガジン社
10文字ホラー 3	氏田 雄介／編	星海社
ノーゲーム・ノーライフ 11	榎宮 祐／著	KADOKAWA
乙女どもよ。	HoneyWorks／原案	KADOKAWA
時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん 3	燦々SUN／著	KADOKAWA
君は僕の後悔 2	しめさば／[著]	集英社
恋は双子で割り切れない 3	高村 資本／[著]	KADOKAWA
スパイ教室短編集 02	竹町／著	KADOKAWA
探偵はもう、死んでいる。 6	二語十／著	KADOKAWA
狼と羊皮紙 7	支倉 凍砂／[著]	KADOKAWA
恋は夜空をわたって	岬 鷺宮／著	KADOKAWA
海鳥東月の『でたらめ』な事情	両生類 かえる／著	KADOKAWA
声優ラジオのウラオモテ #06	二月 公／[著]	KADOKAWA
創約とある魔術の禁書目録 5	鎌池 和馬／[著]	KADOKAWA
錆喰いビスコ 8	瘤久保 慎司／[著]	KADOKAWA

編集後記:◆成人式のお手伝いに行ってきました。私の役目はショールを入れてもらう袋の配布。「ショール」では伝わりにくいため、途中から「そちらの、そう、モコモコしたのをこちらへ入れてください」「お召しのモコモコを…」「モコモコ入れです！」振り袖姿・スーツ姿・はかま姿のみなさん、輝いていました。(ざ)◆もうすぐバレンタインですね。コロナ禍で手作りお菓子を渡すのは難しい状況ではありますが、みなさんの想いが相手に伝わるといいと思います。(私は当日歯医者予約を入れてしまった…完全にやる気ナシ・笑)(う)◆私の中では2月のイベントと言えばバレンタイン<節分です!今年もカいっぱい豆をまいて、恵方巻を丸かじりするぞ!(る)